

3本の木とともに

清瀬市長

渋谷金太郎

清瀬！清瀬！清瀬！清瀬市名誉市民の澄川喜一元東京藝術大学学長が、11月3日皇居で文化勲章を受章されました。市民の皆さん、大いに喜びましょう。

東日本大震災の後、気持ちが真っ暗になってしまった日本に明かりをともした東京スカイツリー®をデザイン監修したのが澄川先生、建設したのが清瀬に技術研究所がある大林組です。新型コロナ問題で暗い時に、再び明かりをともてくれました。本当に有難うございます。

結核と闘い人類最高の悟りを得たと思われる中村天風哲人の教えの一つが次の言葉です。『およそ宇宙の神霊は、人間の感謝と歓喜という感情でその通路を開かれると同時に、人の生命の上に迸り出てようと待ち構えている。だから、平素出来るだけ何事に対しても、感謝と歓喜の感情をより多くもてば、宇宙霊の与えたもう最高のものを受けることが出来るのである』。本当に、澄川先生の文化勲章を大喜びすれば、さらに清瀬に喜びを連れてきてくれると私は信じます。

喜ぶ力が弱いとよい事に気付く力も弱くなります。清瀬は恐ろしい結核と闘ったまちですから、とても喜ぶ力が弱くなっていました。だから、宮中の歌会始選者で京都大学医学部卒業後、東京病院、上宮病院に勤められていた「上田三四二」先生の存在にもほとんど気が付かなかったのです。お医者さんの仕事とは別に、日本芸術院賞、川端康成文学賞など多くの著名な賞を受賞されていたにもかかわらず、全く清瀬の話題にはなっていないませんでした。とても、もったいなかったです。

さらには、結核が蔓延していた

ころ皇室がときどき清瀬に結核患者のお見舞いに来られていたようです。現在、公益財団法人結核予防会の総裁は秋篠宮妃殿下です。

結核予防会の機関誌『複十字』394号の、関西大学高鳥毛敏雄教授の『新型コロナウイルス感染症の対策を支えている保健所と結核対策の歴史』を読むと、改めて清瀬の凄さを感じます。『…結核対策は内務省と市町村を中心とした体制では全く対応することが出来ませんでした。そのために、保健所と厚生省(現厚生労働省)という専門行政の仕組みが作られたと言えます。それだけではなく、結核予防会が設けられ、結核研究所が設置されました。…日本の保健所は結核対策とともに発展してきたと言えます。治療もなくどんな対策を行うべきかもわからなかったことが、結核予防会結核研究所が設置された理由であり、結核研究のミッションを担う結核研究所が科学的な結核対策の方策をつくり、それを全国の保健所が地域で実施することで、日本の結核対策がつくられてきたということを知りました。…』

清瀬の偉大な力、ヤマトタケルノミコトが水天宮ができる前の場所に立ち寄ったことから始まっているのでしょうか。私は後鳥羽上皇ともご縁を頂いています。市長就任前に私が引き継いだ板橋の幼稚園は、上皇が使っていた扇をご神体としている島根県吉田八幡宮の宮司の一族が開設しました。そして上皇がご神体の隠岐神社の開設は結核予防会創立と同じ昭和14年です。

澄川先生の文化勲章、清瀬と皇室との関係を改めて感じさせられました。有難い事です。

家族介護者教室～正しく知ろう 家庭での感染症予防と介護者の体のケア～

家庭で取り組める感染症予防について学ぶとともに、簡単にできる腰痛予防のための体操を行います。講義後、希望者には介護に関する個別相談(Aコース=労働相談情報センター相談員による介護と仕事の両立のための相談、Bコース=地域包括支援センター職員による総合相談)が受けられます。家族介護者、介護を受ける高齢者、ケアマネジャーなどの関係者、介護に関心のある方。先着50人。希望者への個別相談は

各コース先着4人 12月15日(火)午後2時～4時30分 午後2時～: 家庭で取り組める感染症予防(訪問看護ステーションきずな代表 貞弘ひとみ氏)、午後3時～: 腰痛予防体操(健康運動指導士 加藤有里氏)、午後3時30分～4時30分: 個別相談会(場)アミューホール 地域包括ケア推進課 地域包括支援センター ☎042-497-2082



11月25日(水)～12月1日(火)は犯罪被害者週間

11月25日(水)から12月1日(火)は、「犯罪被害者週間」です。市では、交通死亡事故・ひき逃げ事件・性犯罪・殺人事件などの遺族の相談を実施しています。また、東村山

警察署では、専門の相談員による電話相談や支援制度の情報提供を実施しています。東村山警察署 ☎042-393-0110、防災防犯課防犯係 ☎042-497-1848

ふるさと納税

まちづくり応援寄附をされた方への返礼品を拡充しました

市に対しまちづくり応援寄附金(ふるさと納税)にご協力いただいた方(市外在住のみ)へ、金額に応じて返礼品を発送していますが、11月に返礼品を拡充しました。今回拡充した返礼品は、cake laboSMILEのニューヨークチーズケーキスティック(8本入り)の1点となります。

産業振興課産業振興係 ☎042-497-2052



バドミントン教室 体験会

総合型地域スポーツクラブの活動の一環として、バドミントンの体験会を開催します。どなたでも参加できます。11月17日(日)・24日(日)いずれも午前10時～正午 場五中 費参加1回につき保険料40円 12月25日までの平日午前9時～午後5時に、生涯

学習スポーツ課にある申込用紙(市ホームページからもダウンロード可)に必要な事項を記入し、保険料を添えて生涯学習スポーツ課生涯スポーツ係 ☎042-495-7001へ



終活講座2 司法書士がお手伝いします! 『エンディングノート』の書き方

◆今からはじめよう! 将来への備え

終活とは、人生の終わりをよりよく迎えるため、事前に準備するためのものです。自分に、もしものことがあっても家族が困らないように「エンディングノート」を残しておくことが大切です。まだ書いたことがないという方にも、わかりやすく書き方や活用方法を

お伝えします。先着20人。12月22日(火)午後2時～4時 消費生活センター 司法書士 安孫子謙三氏 11月16日からの平日午前9時～午後5時に、直接窓口または電話で消費生活センター ☎042-495-6211へ ※保育あり(6か月～未就学児。先着3人。ご希望の方は11月16日から電話で要予約)

新型コロナウイルス感染症対策事業 「よろず相談会」

市では清瀬商工会と連携し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内の中小・小規模事業者を支援するため、専門家による各種助成事業の申請などの「よろず相談会」を開催しています。12月28日までの毎週火曜日午前10時～午後4時(正午～午

後1時と祝日は除く。12月28日(月)のみ曜日実施。1時間制) 場清瀬商工会館(松山二丁目) 【相談内容】新型コロナウイルス感染症に関連する各種施策の申請や、新しい生活様式に対応した事業計画の策定など 清瀬商工会 ☎042-491-6648

清瀬市市制施行50周年記念展

「リマスターアート®でみるオルセー美術館 印象派の名画展」来場者2,000人を突破

清瀬市市制50周年を記念して開催された「リマスターアート®でみるオルセー美術館印象派の名画展」の最終日となった10月25日に、記念すべき2,000人目となるお客様が来場されました。

2,000人目の方は、累計1,999人目となった方と一緒に来場され、お2人には主催の郷土博物館と企画会社・株式会社アルステクネから、それぞれ記念品が贈呈されました。

たくさんの方にご来場いただき、ありがとうございました。

今月の「清瀬こども俳句」は、1面で石田波郷俳句大会を取り上げているため、お休みいたします。